15章　左官工事

6節 仕上塗材仕上げ

15．6．1　一般事項

この節は、建築用仕上塗材を用いる内外装の仕上工事に適用する。

15．6．4　下地処理

（1） モルタル、プラスター下地等で、ひび割れがある場合は、必要に応じて、U字形にハツリ、仕上げに支障のないモルタル等で充填し、14 日程度放置する。ただし、気象条件等によりモルタル等の接着が確保できる場合には、放置期間を短縮することができる。

（2） 外壁のコンクリート下地等のひび割れの処理方法は、監督職員と協議する。

（3） モルタル下地の仕上げは、表15.6.3により、仕上塗材の種類に応じた〇印の仕上げとする。

表15．6．3仕上塗材の種類に応じたモルタル下地の仕上げ

仕上塗材の種類（呼び名）	モルタル下地の仕上げ			備　考
	はけ引き	金ごて	木ごて	
外装薄塗材Si、外装薄塗材E、外装薄塗材S、内装薄塗材Si、内装薄塗材E、内装薄塗材W、外装厚塗材Si、外装厚塗材E、内装厚塗材Si、内装厚塗材E、複層塗材CE、複層塗材Si、複層塗材E、軽量骨材仕上塗材	〇	〇	〇	薄塗材の場合は、金ごて又は木ごて
内装薄塗材C、内装薄塗材L、外装厚塗材C、内装厚塗材C、内装厚塗材L、内装厚塗材G	〇	—	〇	薄塗材の場合は、木ごて
可とう形外装薄塗材Si、可とう形外装薄塗材E、防水形外装薄塗材E、可とう形複層塗材CE、複層塗材RE、防水形複層塗材CE、防水形複層塗材E、防水形複層塗材RE	—	〇	—	—

（4） ALCパネル下地の場合は、ALCパネル面の欠け、穴等を、ALCパネルの製造所の指定する、補修モルタルで平滑にする。

（5） 押出成形セメント板下地の場合は、押出成形セメント板面の欠け、表面の傷等を、押出成形セメント板の製造所の指定する補修材料で平滑にする。